

森高建設株式会社

本社所在地 ▶ 奈良市 業種 ▶ 建設業

奈良 → 大阪 → 奈良

Uターン



企業情報は17ページをご覧ください

Talker Data



採用担当者

もりたか みき
森高 美樹さん

代表取締役



UIターン経験者

よしだ ともき
吉田 知樹さん
2018年入社

土工

歴史ある奈良の街で「地図に残るものづくり」に携わる魅力を感じよう。

Uターン転職しようと思った理由は？

吉田: 20歳まで奈良で過ごして、その後大阪の会社で重機オペレーターを2年半経験。大阪で暮らすのも楽しかったのですが、自分にはやっぱり奈良の方が合っていると。住み慣れた奈良で建設の仕事をして、完成した時の達成感を味わいたいと思ったんです。

森高: 吉田君の場合は、先に友だちが森高建設で働いていたのよね。実は私が彼に「同年代の仲間がいた方がいいでしょ、誰か誘ってみたら？」と声を掛けたのよ。

吉田: 入社のきっかけは一緒に働かないかと誘われたからですが、奈良にいたところから森高建設の名前は知っていました。奈良で大きな現場をたくさん手掛けているし、安定企業として知られていますから。それもあって、「もちろん働きたい！」と転職を決めたんです。

森高: 最初に面接に来てくれた時、緊張していたけれど真面目で礼儀正しいところがすぐに見て取れたから即採用を決めましたよ。吉田君の方はこの会社の第一印象はどうだったの？



吉田: 正直な話、入社するまでは馴染めるか不安でした。でも先輩たちは本当に優しくて仲良くしてくれて。最初の不安はすぐになくなりましたね。今は本当に働きやすいです。何より、自分が入った現場で建物が建っていく過程が楽しい。公共工事も民間工事も、手応えある現場が多いので、やりがいがあります。

森高: 目の前の景色が変わっていく様子って、本当に凄いいよね。

ある現場を手掛けていたときに、現場の前のマンションの方が毎日自宅のベランダから記録写真を撮っていたことがありました。更地からだんだんと建物が建っていくって、完成するまでの記録写真。これがまさに「建設業の魅力」だと思う。

吉田: そういう感覚をもっと味わいたいから、もっともっと現場に出たいです！

奈良の建設会社の特徴は？

森高: 面積の広い奈良県ですが、その2/3は山間地。街づくりができるのは、橿原市から奈良市の狭い地域に限られます。しかも、あちこちに歴史的な建造物など世界遺産が点在しているから、許可申請も厳しい。開発するには難しいエリアですね。逆に言えば、だからこそ面白い。奈良の良さを充分に知っている私たちが、この街の魅力を活かした開発をしていく。とてもやりがいのある仕事ですよ。

吉田: こんなに特徴のある県は、他にない

ですよね。奈良だからこそできる仕事があると、僕も思います。

森高: 吉田君には技術者になってどんどん腕を磨いてほしいと期待しています。資格取得にもチャレンジしているところでしょうか？

吉田: はい。今、2級土木施工管理技士試験合格を目指して勉強中です！簡単にはいかないけれど、先輩たちが色々教えてくれるのでありがたいですね。自分のスキルを磨いて、いろんな現場をこなせるようになりたい。

森高: 先輩の中には、ひとりで幾つも資格をもっている技術者もいるものね。建設業界の技術者は、もっともっと評価されるべきだし、今後はそのポジションが上がっていくはず。私は、入社してくれた社員には取れる資格を全て取ってもらいたいと考えているんです。吉田君にも本当に頑張ってほしい！

UIターンで入社される方に期待することは？

森高: 吉田君のように奈良出身者の場合は奈良の良さを知っているけれど、他県の方に興味を持ってもらえるのはとても嬉しいですね。以前、「寺社仏閣が好きだから、奈良で働きたい。奈良の街づくりに興味がある」と言って入ってくれた九州出身の社員がいたけれど、そういう動機も大歓迎。実際に、ちょっと掘ったら何かが出てくるような土地ですからね。面白い場所ですよ、奈良県は。奈良を愛してくる方たちと、ここで一緒に奈良の街づくりをしていきたいですね。